

MIYADERA INSULATION CORP.

MIYADERA INSULATION CORP.

COMPANY INFORMATION

<http://www.miyadera.co.jp>

株式会社 ミヤデラ断熱 東京都品川区南品川5-3-10ミヤデラビル8F TEL 03-3474-3620 FAX 03-3474-3626 国土交通大臣許可:熱絶縁工事業(般-19 第22157号)

更なる省エネルギーを目指して

株式会社 **ミヤデラ断熱**

保温保冷工事・アスベスト調査工事《国土交通大臣許可 熱絶縁工事業 許可(般-19)第22157号》

<http://www.miyadera.co.jp>

お客様にご満足していただける ミヤデラ断熱に成長する為 全社一丸となって挑戦しております。

当社は大正8年（1919年）に珪藻土・炭化コルク・石綿を主材料とした
各種保温資材及び石綿紡績品の製造・販売、並びに保温、保冷、防熱工事施工を
目的として初代社長 宮寺良寛の創業により発足しました。

創業以来、我が国のあらゆる産業界のご要望におこたえして創意を生かし、
優れた耐熱製品・保温材を供給し、且つ施工技術の向上に努め、
省エネルギーに貢献してまいりました。

これもひとえに需要家各位の格別のお引き立てと、
ご厚情の賜と深く感謝いたしております。

当社と致しましては、激しく変化する顧客産業界のご要望に対し、
速やかに且つ積極的に対応し永年に亘るご信頼にお応えするため、
次のテーマに挑戦しております。

1. 豊富な工事経験（実績）を生かした新製品の開発・販売
2. コンピューターネットワークシステムの導入による迅速なサービスのご提供
3. 生産性向上と施工技術者の育成

以上のテーマに対し、全社一丸となって挑戦し

一日も早くお客様のご満足をいただけるミヤデラに成長したいと願っております。

なにとぞ、従来以上のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 宮寺力也



省エネルギーを目指して

ビル設備断熱工事部門

EQUIPMENT WORK DEPARTMENT



事業の核として、
英知とノウハウを原動力に

■ 保温・保冷工事 アスベスト除去工事

建設される建物の中には、冷房や暖房などの環境設備が必要となります。この環境設備のエネルギー供給に使用される配管やダクト、機器における熱エネルギーの放熱や熱伝導を各種保温、断熱資材を利用して最小限のエネルギー損失にする工事です。有害なアスベストの除去工事も法令に則って行います。



■ 防露工事

同じく建設される建物内には給水と排水を行う衛生設備があり、これらの設備に利用される各種配管が内部を流れる流体の温度により外部との温度差が発生します。温度差が発生すると物理反応による熱エネルギーの移動が生じ空気中の水蒸気が液化し水滴となって結露します。防露工事はこの結露を防止します。



船舶断熱工事部門

SHIP WORK DEPARTMENT



船舶に活力を与え、安全に運航させる仕事の重要性を認識して

各地のドックを中心に客船や商船、自衛隊や海上保安庁の船舶などの保温・断熱・保冷工事を各造船会社様と協力して工事を行っています。特殊な現場だけに高度な技術が求められますが、深い専門知識と優れたスタッフにより着実に実績を重ねています。



プラント断熱工事部門

PLANT WORK DEPARTMENT



熱損失防止のためにデータと
施工技術を結集

各メーカー様工場をはじめ清掃工場などの公共施設やクリーンルームや石油備蓄基地などのプラントにおける保温・断熱・防振・保冷・防音など各種工事実績と、これらの豊富な経験とデータをもとに、あらゆるニーズにお答えします。



断熱材販売部門

SALES DEPARTMENT



高品質・低価格資材を、
量の多少を問わず安定供給

保温・保冷・断熱材、パッキン類、および加工品など、建築・施工資材の調達（仕入・販売）を行っています。お客様のご要望に迅速に対応する為、メーカーとの一体化推進のもと、安定供給に努めています。この他にも各種取扱品がございます。ご注文、ご質問などありましたら、ご一報下さい。

保温・保冷・断熱材	<ul style="list-style-type: none"> ・グラスウール ・ロックウール ・フォームポリスチレン 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォームポリエチレン ・ポリウレタン ・珪酸カルシウム
パッキン類	<ul style="list-style-type: none"> ・テフロン ・ジョイントシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・うす巻形 ・クロス系 ・メタル系
加工品	<ul style="list-style-type: none"> ・フォームポリスチレン加工品 ・ウレタン加工品 	<ul style="list-style-type: none"> ・セラミック加工品 ・フィルター各種 ・電気絶縁材加工品



安心・安全・安価。
アスベスト調査分析から処理工事、廃棄、
復旧工事まで一気通貫、全て行います。

What's Asbestos アスベストとは・・・

アスベストは大気中に舞っています

アスベストは古代よりさまざまな用途で使われてきました。髪の毛の1/5000という細さのため、大気中に常に舞っています。日本の都会では、平均0.2本/ℓ、1ℓの空気中に0.2本のアスベストが存在していると言われてます。微量のアスベストであれば、健康に被害はほとんどないと言われてます。

アスベスト

アスベストとは、天然の蛇紋岩系および角閃石系の繊維状鉱物のことで「石綿(いしわた、せきめん)」とも呼ばれています。種類としては、蛇紋岩系のクリンタイル(温石綿または白石綿)・角閃石系のクロシドライト(青石綿)・アモサイト(茶石綿)などが使用されてきました。アスベストは、耐久性・耐摩耗性・耐腐食性に優れる為、建材の中心に幅広く使用されてきましたが、平成16年10月1日より全てのアスベストの使用が禁止されました。

吹付アスベスト

吹付アスベストは、アスベストにセメント等の結合材と水を加え混合し、吹付け機を用いて吹付けたもので、昭和30年頃～昭和55年に壁・天井・梁・柱などに防火・耐火・吸音・断熱の目的で使用されました。また同様の用途で使用している(吹付けロックウール)にも、昭和55年まではアスベストを混合した場合があります。吹付けアスベストを使用した建物は、建築後30年程度経過しており建て替え時期を迎えつつあります。環境省の調査では、2020年頃にそのピークを迎えると予測しています。これらを背景として、建て替えに伴う建物解体時のアスベスト飛散を防止する目的で大気汚染防止法が改正されました。



アスベスト

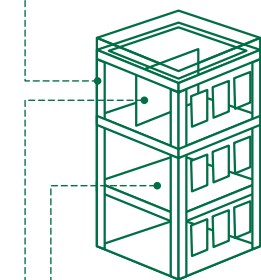


アスベスト顕微鏡写真

建築物における使用例

鉄骨造のビル

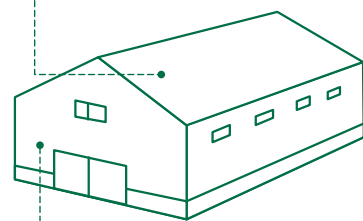
鉄骨 吹付けアスベスト・耐火被覆板
アスベスト含有吹付けロックウール



天井 間仕切り壁 けい酸カルシウム板
石綿セメント板・石綿スレート

倉庫・工場

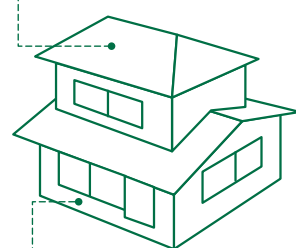
屋根 石綿セメント板・石綿スレート



外壁 石綿セメントサイディング

一般家庭

屋根 住宅屋根ふき用石綿スレート



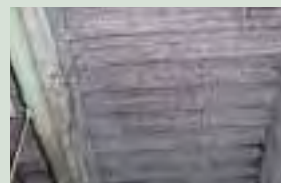
外壁 石綿セメント板・石綿スレート

アスベストの害と人体への影響

アスベストが人体の及ぼす影響として、アスベスト繊維のその細さ故、肺の中で排出されずに肺自体に刺さり、石綿肺・肺ガン・中皮種などがあり20～40年の長い潜伏期間を経て発病する場合があると言われてます。肺ガンは、アスベストと喫煙の相乗効果により、発病率が高くなると言われています。現在確認されているのは呼吸器系のアスベスト疾患のみで、食べることによる疾患はないといわれています。

アスベストへの対処と対処基準、関連する法律

アスベストが大量に空気中に散布すると危険です。その為、2005年7月1日より、むき出しアスベストに対しては何らかの処置が建物の所有者に義務付けられました。飛散するおそれのない場合は、法的にはそのまま大丈夫です。飛散するおそれのある場合は、アスベストを完全に除去するか、天井などをつけて囲い込み、薬剤などで封じ込めるかをすることが求められています。(除去、囲い込み、封じ込め)また、建物の解体時・改修時には、法律で決められた方法でのアスベストの除去と廃棄が義務づけられています。



Miyadera Asbestos Remove System

FLOW CHART

調査分析

アスベストと思われる素材をサンプル取得して分析します。
 また、必要であれば建物内の空気中のアスベスト濃度を調査します。調査後、処理方法についてご提案しますが、必ずしもアスベストを除去する必要はありません。
 処理の必要性の有無を中心に提案し、危険がない場合はそれを証明して終了となります。



当社所有:リガク社製 X線回折装置 Multi Flex

コンサルティング

アスベストの処理の必要性の有無・除去・封じ込め・囲い込みのいずれかが法的に必要なご提案します。
 アスベストの処理方法については足場費用などを加えた詳細をなるべく安価な方法にてお見積りいたします。

お見積り例) 概算除去費用 18,900円/m²～(交通費・諸経費別途)
 概算封じ込め費用12,600円/m²～(交通費・諸経費別途)



アスベスト処理

アスベスト除去工事は、特定化学物質等作業主任者の監督の下、特別教育を受けた作業員が行います。
 吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術には、「除去工法」と「封じ込め工法」の2種類があります。

除去工法

吹付けアスベスト層を
下地から取り除く工法です。

封じ込め工法

吹付けアスベスト層をそのままにし、吹付けアスベストの表面に薬液を塗布し塗膜を形成したり、吹付けアスベスト層内に薬液を浸透させ、飛散を防止する工法です。
 尚、「封じ込め工法」の場合、最終的には建物の解体時に再度除去工事が必要となります。



ふうじろう専門サイト→ <http://www.fujiro.com>

アスベスト廃棄

法律・各都道府県に決められたアスベスト廃棄方法により、特別管理型産廃場へ当社専属の収集業者に委託し廃棄処理します。また不法投棄防止GPS監視システム「ECOエリート」を稼働させ、コンプライアンスを徹底した廃棄処理を行います。



復旧工事

耐火被覆箇所には、アスベスト除去後にもう一度耐火被覆材を復旧する必要があります。
 吹き付けブローワ系ではない、安全な巻き付け耐火被覆材(ロックウール)や耐火塗料などで復旧します。
 また、グラスウールなどを使用した防音工事、保温工事も対応致します。

せっこう系吹付け材



シート型耐火材



耐火塗料



巻き付けロックウール



グラスウール工事 etc.



K-FLEX AL CLAD SYSTEM



K-FLEX AL CLAD SYSTEM



K-FLEX AL CLADは地球環境に優しい発泡ゴム断熱材 K-FLEXの表面にメタル調の特殊フィルムを貼り付けた画期的なジャケット一体化製品です。

- 自己消化性及び耐食性を兼ね備えています。
- 柔軟で加工性に優れています。
- グラスウールやポリウレタン、ポリスチレンなどで施工する場合に必要なメタルジャケットを装着する工程を省略できる為、工期を画期的に短縮でき、工事のトータルコストを著しく軽減できます。
- 発塵しない為、クリーンルームの空調系の仕上げや衛生的な環境を追及される医薬品、食品、飲料工場などの小型タンクや設備配管の断熱にも適しています。



ふうじろう

アスベスト除去部分隔離キット

ふうじろう

今までの常識を覆す新しい工法 **アスベスト除去処理を大幅に簡素化&コストダウン!**



今までのアスベスト処理は部屋全体を隔離して処理していましたが、これからはアスベストだけをラッピングして捨てる「部分隔離キットふうじろう」がアスベスト処理を変えていきます。

ハッキリ 1
作業者の労働環境を改善
効率UP (工期短)

ラッピング部分隔離により、膜の外側から手を入れて除去する為、安全です。

ハッキリ 2
外部の足場など不要だから
コスト減

居室全体を隔離しなくて良いのでコストと工期が飛躍的に抑えられます。

ハッキリ 3
作業中も営業できるから
損失0

通常より隔離養生面積が少ないので作業中も営業が可能です。

ECOエリート

ECOエリート



産業廃棄物の適正処理を確実に明確に

施工主のコンプライアンス強化のため、当社はアスベスト不法投棄を徹底監視し、確実に産廃処理をします。

アスベスト不法投棄 GPS監視システム採用

2005年7月1日のアスベスト規則の施行により、アスベスト処理の需要は急速に拡大しております。それに伴い最近では、アスベスト不法投棄の事件も起きるようになってきました。施工主・処理業者にとってこの問題は社会的に大きな問題で、収集業者への監視方法はあまり取られていなかったのが現実です。現在の法律では、産業廃棄物の不法投棄は施工主にも責任範囲が及ぶ、企業のコンプライアンス上、とても大きな問題となっています。そこでミヤデラでは、株式会社アイティフォーによる携帯電話のGPS機能を利用した産業廃棄物監視システム「ECOエリート」を導入し稼働開始しました。これにより当社は不法投棄を徹底監視し、確実にアスベストの産廃処理を行います。より安全で安心して暮らせる未来に向けて、社会に貢献してまいります。

会社概要

会社名	株式会社 ミヤデラ断熱
創業	1919年 大正8年
本社所在地	東京都品川区南品川5-3-10 ミヤデラビル8F TEL 03-3474-3620 FAX 03-3474-3626 Email:honsha@miyadera.co.jp
代表者	代表取締役社長 宮寺 力也 (東京保温保冷工業協会 理事)
資本金	50,000,000円
事業内容	保温保冷工事 保温断熱材販売 アスベスト除去工事 国土交通大臣許可:熱絶縁工事業(般-19 第22157号)
従業員数	41名
事業所	東京・名古屋・大阪・金沢・新潟・富山・福井 四日市・千葉 全9事業所
URL	http://www.miyadera.co.jp
主要得意先	株式会社アイ・エチ・アイ マリンユナイテッド、株式会社朝日工業社、池田煖房工業株式会社、斎久工業株式会社、三機工業株式会社、三建設備工業株式会社、株式会社城口研究所、新日本空調株式会社、新菱冷熱工業株式会社、須賀工業株式会社、第一工業株式会社、株式会社大氣社、大成空調株式会社、ダイダン株式会社、高砂熱学工業株式会社、東洋熱工業株式会社、株式会社西原衛生工業所、日本設備工業株式会社、株式会社日立プラントテクノロジー、富士電機総設株式会社、北陸設備工業株式会社、菱機工業株式会社など (50音順)
所属団体	日本保温保冷工業協会 日本空調衛生工事業協会 賛助会員 東京商工会議所

沿革

大正8年12月	創業者 宮寺 良寛が宮寺商会として創業
昭和7年1月	合名会社 宮寺石綿工業設立
昭和10年12月	宮城工場設立
昭和14年1月	大森工場設立
昭和14年9月	宮寺石綿理化学工業株式会社に改組 資本金450,000円
昭和26年10月	大阪支店設立
昭和27年9月	社長 宮寺 保 就任
昭和27年12月	名古屋出張所、支店に昇格
昭和33年4月	北陸出張所・金沢店開設
昭和39年10月	北陸出張所富山店・福井店・新潟出張所開設 福岡出張所・佐世保出張所開設
昭和46年4月	社長 宮寺 保 日本保温保冷工業協会会長に就任
昭和50年8月	資本金 70,000,000円に増資
昭和53年8月	社長 宮寺 良雄 就任・宮寺 保 会長就任
昭和53年9月	会長 宮寺 保 勳四等紫綬褒章受章
昭和61年4月	社長 宮寺 良雄 日本保温保冷工業協会副会長に就任
昭和62年6月	株式会社ミヤデラに商号変更
平成元年12月	創業70周年記念式典挙行
平成2年8月	本社新社屋ミヤデラビル竣工
平成3年12月	札幌出張所、北海道支店に昇格 北陸出張所、北陸支店に昇格 本社内に営業力増強のための営業統括本部設置
平成5年4月	熱絶縁技能養成校“東京サーモテクノスクール”設立参画
平成5年6月	福岡出張所、九州営業所に昇格
平成5年9月	千葉出張所開設
平成10年9月	社長 宮寺 良雄 勳四等紫綬褒章受章
平成17年9月	社長 宮寺 力也 就任
平成19年6月	株式会社ミヤデラ断熱設立



当社施工実績例



横浜ランドマークタワー

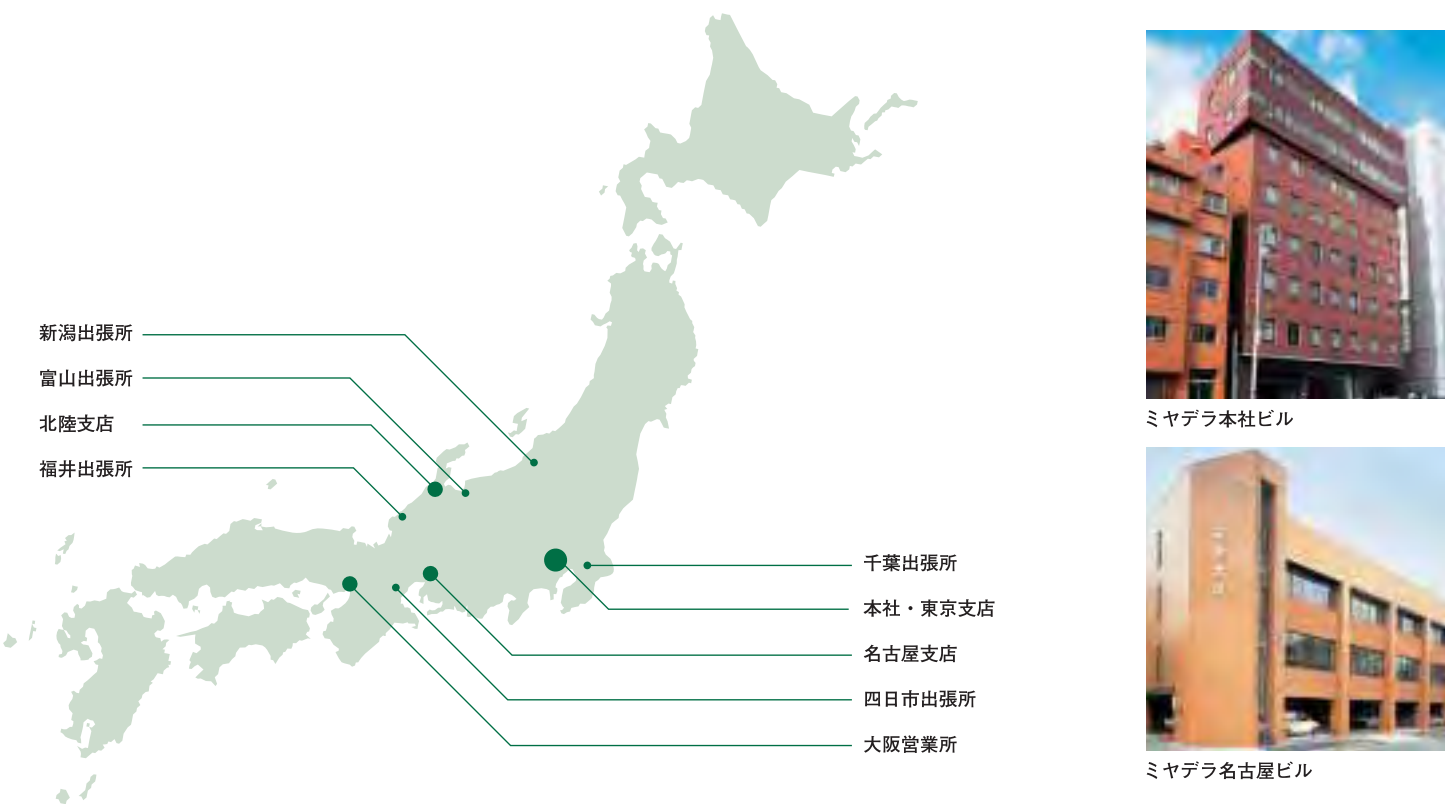


関西国際空港ターミナルビル



名古屋JRセントラルタワーズ

事業所案内



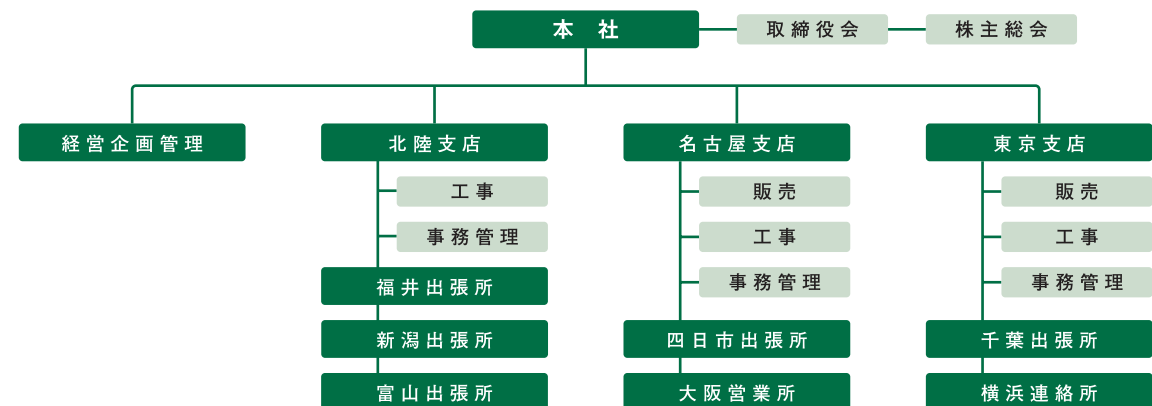
ミヤデラ本社ビル



ミヤデラ名古屋ビル

本社	東京都品川区南品川5-3-10	TEL 03-3474-3620 (代) E-mail: honsha@miyadera.co.jp	FAX 03-3474-3626 (代)
東京支店	東京都品川区南品川5-3-10	TEL 03-3474-3621 (代)	FAX 03-3474-3627 (代)
名古屋支店	名古屋市中区丸の内2-6-25	TEL 052-201-3551 (代)	FAX 052-211-4539 (代)
北陸支店	金沢市西念4-24-30	TEL 076-261-9184 (代)	FAX 076-224-2336 (代)
大阪営業所	大阪市天王寺区上本町5-2-11	TEL 06-6762-2966 (代)	FAX 06-6762-2967 (代)
新潟出張所	新潟市中央区長潟3-6-12	TEL 025-286-6682 (代)	FAX 025-286-6683 (代)
千葉出張所	千葉市中央区南町2-6-1	TEL 043-263-6340 (代)	FAX 043-263-7620 (代)
富山出張所	富山市総曲輪4-4-44	TEL 076-492-6651 (代)	FAX 076-492-6652 (代)
福井出張所	福井市二の宮4-2-10	TEL 0776-26-5700 (代)	FAX 0776-26-5796 (代)
四日市出張所	四日市市南浜田町4-28	TEL 0593-52-8391 (代)	FAX 0593-52-8394 (代)
横浜連絡所	横浜市磯子区新杉田町12番地 (I H I M U内)	TEL 045-753-6581 (代)	FAX 045-753-6581 (代)

組織図



株式会社ミヤデラ断熱 会社概要

会社名	株式会社 ミヤデラ断熱
創業	1919年 大正8年
本社所在地	東京都品川区南品川5-3-10 ミヤデラビル8F TEL 03-3474-3620 FAX 03-3474-3626
代表者	代表取締役社長 宮寺 力也 東京保温保冷工業協会 理事
資本金	50,000,000円
事業内容	保温保冷工事 保温断熱材販売 アスベスト処理工事 国土交通大臣許可:熱絶縁工事業(般-19 第22157号)
役員	常務取締役:佐野 光輝 取締役:中島 正男 監査役:藤枝 宏康
従業員数	41名
事業所	東京・名古屋・大阪・金沢・新潟・富山・福井・四日市・千葉 全9事業所
URL	http://www.miyadera.co.jp
売上高	平成18年5月 37億4千万円
主要取引銀行	商工中金深川支店、東京都民銀行大森支店、阿波銀行蒲田支店、 みずほ銀行品川支店
主要得意先	株式会社アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド、株式会社朝日工業社、 池田煖房工業株式会社、斎久工業株式会社、三機工業株式会社、 三建設備工業株式会社、株式会社城口研究所、新日本空調株式会社、 新菱冷熱工業株式会社、須賀工業株式会社、第一工業株式会社、株式会社大気社、 大成温調株式会社、ダイダン株式会社、高砂熱学工業株式会社、東洋熱工業株式会社、 株式会社西原衛生工業所、日本設備工業株式会社、株式会社日立プラントテクノロジー、 富士電機総設株式会社、北陸設備工業株式会社、菱機工業株式会社など (50音順)
主要仕入先	株式会社池上工業所、株式会社エフ浜松、関東ロックウール株式会社、 東京グラスロン株式会社、ニチアス株式会社、野村産業株式会社、 吉川工業株式会社など (50音順)
所属団体	日本保温保冷工業協会 日本空調衛生工事業協会 賛助会員 東京商工会議所